

# 2020年度 法科大学院

## 第3期末修者

## 入学試験問題

## (小論文方式)

### 試験時間 80分

#### 注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ずそれぞれの解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (5)参照は不可となっています。
- (6)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (7)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (8)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (9)試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

## [小論文1]

以下の文章を読み、続く問いに答えなさい。(100点)

三河安城を過ぎた辺りで目を覚ました久之助は、窓外に流れる風景を見遣りながら、大学院生時代の苦い経験を思い出していた。たしかに涼子との関係は、あの峰西公園でのやり取りからぎくしゃくし始めたような気がする。

「公園というのは、いろいろな人が訪れる場所なのよ。おじいさんもおばあさんも、子どもも赤ちゃんも。わたしと同じ年頃の女の子が来るかもしれないわ。それなのに、この公園では何の工夫もされていない。これじゃあ、ただの広い森だわ。もっとみんなが楽しめるようにしなきゃ。」

「だけど、たとえば滑り台を一つ造るだけでも、たくさんの樹を伐ることになるんだよ。そこには色々な生き物が暮らしているのに。」

久之助は、今でも涼子の考え方を受け容れていないが、言い分を理解することはできる。幾つかの県や市から依頼を受けて、公園審議会の委員を務めているからだ。どこへ行っても、これからの公園構想を巡って、このような意見が出て来る。だが、あの頃は、ただ反発を覚えるばかりだった。涼子が法学部の学生であることに思いを致す余裕すらなかった。

だが、久之助はそれでよかったと思っている。昆虫少年が大きくなって生態学者になった。今では学会報告をさせてもらえるほどになった。もし、あのまま交際が続いていたなら、食品会社にでも就職して、今頃はきっと平凡なサラリーマンだ・・・そんな想像に耽っているうちに、列車は東京駅のホームに滑り込んだ。

久之助はホテルに荷物を預け、明日の学会の会場を確認すると、すぐに峰西公園に向かった。涼子と別れた後も、ここでのフィールドワークは続けざるを得なかった・・・哀しい日々を思い出しながら、当時の調査コースに歩を進める久之助。直ぐに当時と何かが違うことに勘付いた。今も昔も変わらぬ久之助の思想と相容れない何かがそこにあるのだ。周りを眺め回すと、昔は湾曲していた小路の樹木が一部伐採されて、その分真っ直ぐになっている。良く言えば、見通しが効く。だが、久之助にはそれが悲しかった。

ホテルに入った久之助は、ベッドに寝転んで、小路の改造の目的を考え始めた。そういえば、どこかの県の公園審議会で、散策路の直線化案を聞いたな。あの時の涼子はリクリエーションの場を拓げることしか考えていなかったかもしれないが、子どもや若い女性が訪れるとなると、直線化にはたしかにメリットがある。だが、多様性を重視する生態学者としては、直線化はダメだ。そもそも人間の心根は、曲線の方を好むものなんだ・・・

**問1** 涼子の意見と久之助の思想を共に政策に採り入れるとすれば、どのような公園構想を描けばよいか。あなたはその公園構想をどう評価するか。400字程度でまとめなさい。

**問2** 公園の小路を直線化することにどのようなメリットがあるのだろうか。また、久之助はなぜ直線化に反対するのだろうか。あなたの理解を300字程度で説明しなさい。

## [小論文 2]

以下の文章は、国連の気候変動に関する政府間パネル（I P C C）がまとめた特別報告書についての社説（朝日新聞 2019 年 8 月 22 日）からのものです。この文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

**問 1** 記事によれば、地球温暖化と食糧生産はどのように影響し合っているか、解答用紙に記載しなさい。（15 点）

**問 2** 記事は、食糧確保と温暖化対策を両立するためにどうすべきと言っているか。また、それに対するあなたの見解を解答用紙に記載しなさい。（25 点）